

放課後等
デイサービス

事業所における自己評価結果(公表)

公表:

令和3年3月10日

事業所名

児童デイサービス十彩

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースを確保できている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		基準値の職員配置は行っている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		設備が必要になった場合は増設を検討する。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月のカンファレンスを行っている。	今後も継続し業務改善に努める。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者に評価を行って頂いている。	職員で検討を行い改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報ホームページ等で公開している	○		保護者に評価表を実施しホームページに公表している。	保護者からの意見を踏まえ検討し改善につなげていきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている業所の会報やホームページ等で公開している		○		現在コロナ感染予防の為にしていないが今後は外部評価の実施を検討する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行い記録に残している。	今後も継続を行う。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎月職員とカンファレンスをを開くことでニーズを明確化している。	今後も継続を行う。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		社内統一した書式を使用している。	今後も継続を行う。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合いのもと立案を行っている。	今後も継続を行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の活動内容を変えて行っている。	今後も変化を持たせたプログラムを実施して行きます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日、長期休みの活動内容に変化を持たせ支援をおこなっている。	今後も継続を行う。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者のニーズや児童に合った計画書を作成している。	日々の子供の状況に応じて個別活動、集団活動に変化を持たせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼を行い、その日の活動の内容を周知している	利用児童によって支援内容の確認を継続していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後に行えない場合はノートで共有しています。	今後も支援内容、児童の様子をカンファレンス、モニタリング、朝の朝礼時に情報の共有を行い支援につなげていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		児童に大きな変化が見られた際は朝礼にて情報を共有することで支援を改善している。	細かな様子が記録に記載出来るよう行う。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1度のモニタリングで行っている。	今後も継続を行う。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		児童の状況に合わせた活動を行っている。		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			サービス担当者会議がある場合は管理者若しくは児童発達支援管理責任者が出席する。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報交換は随時行っている。送迎時、トラブルの際には学校に連絡を行っている。	今後も学校との連携を継続を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			受け入れ予定があった際には連携を図る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		イエローファイルにて情報は共有できている。	今後も継続を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	福祉サービス事業所との情報の共有は必要に応じて行う	今後も継続を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			今後も状況を見ながら行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ感染予防の為予定はありませんが交流ができる様に声掛けをおこなう。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		状況によって行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有している。	今後も継続を行う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている		○		家庭訪問を行い、保護者の話を聞くことで気持ちを受け止め児童との関係性を見直せるように配慮する。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際の行っています。	今後も継続を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎の際に保護者と情報を共有し必要であれば相談等の支援を行っている。	今後も継続を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は希望者が多ければ検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	迅速に行っている。	今後も継続を行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	毎月会報を発行し活動内容や行事について情報を発信している。多彩な行事を実施している。	今後も継続を行う。
	35	個人情報に十分注意している		○	カギが掛かっている書庫に保管している。	今後も継続を行う。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	送迎の際に本日の児童の様子を保護者様に伝えることで情報を共有している。	意思疎通を図るために保護者とは送迎時以外ではメール、電話等で配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ感染予防の為、入念に対策や案を出し実施を検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルがあり定期的に研修を行っている。	緊急時対応については地震を想定した訓練を行っている。今後も継続していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っている。	今後も継続を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っている。	今後も継続を行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		前例がなかったため今後あった場合は児童や保護者様に事前に説明し、理解を得たうえで支援をおこなう。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーが強い児童にはかかりつけ医に指示を受けている。	今後も継続を行い変化がある際には密に情報共有を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		定期的な研修、会議にて案件があれば行うようにし記録にも明記する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。